

種子交換にて新しく導入した熱帯植物の開花状況

磯部 実・柴田昌男

1986～1987年に導入、播種した熱帯植物のうち開花に至った6種(表)を報告する。

植 物 園	導入年	導入先	播 種	開 花
<i>Brachichilum horsfieldii</i> Petersen (ショウガ科)	1986	アムステルダム大学植物園 (オランダ)	1986, 7月	1987, 8月
<i>Costus afer</i> Gawl. (ショウガ科)	1986	アムステルダム大学植物園 (オランダ)	1986, 7月	1989, 7月
<i>Stachytarpheta mutabilis</i> Vahl. (クマツヅラ科)	1986	マウントコーター植物園 (オーストラリア)	1986, 12月	1987, 10月
<i>Lantana torifolia</i> L. (クマツヅラ科)	1987	ボゴール植物園 (インドネシア)	1987, 10月	1989, 3月
<i>Morinda citrifolia</i> L. (アカネ科)	1987	グラーツ大学植物園 (オーストリア)	1987, 5月	1989, 5月

Brachichilum horsfieldii Petersen

ジャワ島原産。草丈は50～100cm。根茎は短く横に這い、茎は直立する。葉は披針形で長さ約30cm、幅約8cm。茎頂から長さ約30cmの穂状花序を伸ばし、10個前後の花を着ける。花冠は白色ないし黄白色で筒状、長さ約8cm。唇弁は白色で先端は2裂し、開花期間は2～3日と短い。果実は3室からなるさく果で直形約3cm、赤色に熟し観賞価値がある。



Brachichilum horsfieldii Petersen

Costus afer Gawl.

アフリカ原産。草丈は100～250cm。地下茎は横に這う。茎は太さ1～2cm、頂部はらせん状に伸びる。葉は厚く光沢があり、長楕円形で長さ約30cm、幅約10cm。地下茎より約30cmの高さに花茎を伸ばし、径約7cmの球形の花穂を頂生

する。苞葉の間から花をまばらに着け、花冠は筒状で白色、先端は3裂し長さ約3cm。



Costus afer Gawl.

Stachytarpheta mutabilis Vahl.

草丈は50～100cmの灌木。茎は4稜で、短毛がある。葉は楕円形で両面に短毛があり、長さ約8cm、幅3cm。枝先に長さ約30cmの穂状花序を伸ばし、径5mmの桃色の小さな花を無数に着ける。



Stachytarpheta mutabilis Vahl.

Lantana torifolia L.

原産は西インド諸島，メキシコ，中央，南アメリカ。草丈は50～100cm。灌木状になり，新茎は短毛がある。葉は3枚が輪生し，長楕円形で両面に短毛があり，長さ約5cm，幅3cm。葉先と葉腋に頭状花序を着け，桃色の約5mmの花を無数に着ける。果実は直径約5mmの紫色の液果。

温室では次々と花を咲かせ，鉢植え，花壇植栽に向く。果実も観賞価値がある。



Morinda citrifolia L.

原産は東南アジアからオーストラリア。沖縄にも自生があり，ヤエヤマアオキの和名がある。草丈は100～150cmの灌木。側枝が四方に広がり，新茎は4稜。葉は対生し，長楕円形で表面は光沢があり，長さ約30cm，幅約15cm。側枝の頂部葉腋に頭状花序をつけ，長さ約15mm，径約13mmの筒状の白色の花をつける。果実は球形多肉状の集合果で，黄緑色で後に紅色になる。

なお，1983年福山市の宗田利通氏より本種の園芸品種で白斑の品種の苗の寄贈を受け，1989年に大温室に地植えし，開花結実している。



園内の土壤分析結果について

吉岡敏彦

当植物公園は開園10数年を経て，植栽種も年々増加してきているが，近年生育がおもわしくない植物も増えてきた。現在の土壤の状態を把握し，植物栽培をスムーズに行う為，園内の土壤分析を行った。その結果を報告する。分析は広島市経済局園芸指導所に依頼した。

1. 調査概要

- (1) 調査場所
 - ① 系統進化園
 - ② バラ園
 - ③ ボタン園

- ④ アジサイ園
- ⑤ 大温室
- ⑥ スイレン温室
- ⑦ 苗ほ場

(2) 調査年月日 1991年1月17日

(3) 分析方法

pH及びEC……1:2.5

腐植………チューリン法

有効P………トルオーグモリブデンブルー法
置換性塩基…1N・NH₄OAc 原子吸光法

2. 調査結果及び考察

土壤分析結果は表に示す通りであった。

- ① 系統進化園
全体的にpHが高く，EC（土中の肥料濃度），